

平成13年9月13日
航空宇宙技術研究所

3機関統合準備会議開催に伴うタスクフォース等の設置に就いて

3機関統合準備会議が9月中下旬より文部科学技術省青山副大臣の下に設置され今後検討を開始することとなる。これに対応して、

(1) 3機関の間の連絡調整会として、

NAL 永安、舞田

NASDA 齊藤、樋口

ISAS 松本、小野田

により構成されるメンバーで3機関の摺り合わせ、調整を行う。

(2) また、所内に於いては統合準備会議委員である理事長の指揮の下に、企画経営室にタスクフォースを設け、戦略委員会、各研究センター長等とも適宜調整を図り乍ら以下の検討を進めていくものとする。

宇宙3機関の統合に向けて宇宙の研究開発機関のあり方の検討

- ・統合後の航空宇宙研究開発の施策
- ・統合後の新組織の主たる機能と現航技研活動の展開（就中、航空の位置づけ）
- ・プロジェクト・研究開発の推進体制
- ・関係機関、大学、産業界との連携の在り方
- ・大学共同利用・大学院生教育等人材育成の在り方
- ・その他

タスクフォースのメンバーは当面以下を予定（必要に応じて適宜追加）、

主査—舞田

委員：村上（次世代センター）、柳原（飛行センター）、木部（宇宙システムセンター）、吉田（誠）（角田センター）、青山、谷（航空担当、宇宙担当研究企画主任）

なお、事務局は企画経営室（内藤）とする。

以上

メモ

宇宙 3 機関将来構想検討会として、第一回目の会合を平成 13 年 9 月 4 日に宇宙開発事業団役員会議室 29F に於いて開催した。

検討会メンバーは以下の通り：

宇宙科学研究所：

松本敏雄 MATSUMOTO@tkes03.tksc.nasda.go.jp, Toshio<matsumo@ir.isas.ac.jp>

小野田淳次郎 onoda@newslan.isas.ac.jp

宇宙開発事業団：

斉藤勝利 saito.masatoshi@nasda.go.jp

樋口清司 "higuchi.kiyoshi" higuchi.kiyoshi@nasda.go.jp,

航空宇宙技術研究所：

永安正彦 <nagayasu@nal.go.jp>,

舞田正孝 maita@nal.go.jp

出席者（宇宙科学研究所小野田教授は欠席）の間で自由な意見交換を行い会の主旨、検討課題、今後の進め方、それぞれの機関が抱える諸課題等に就いて話し合った。

主旨、背景、検討内容等に就いての議論は、概ね以下の通り；

1, 背景

- ・ 3機関の統合に当たって、単に組織の合理化ではなく、このようなことをやるために3機関を統合したと内外に示し、賛同と支援を得ることが重要。
- ・ この検討会は三機関で自主的に実施する。
- ・ 15年度の統合を想定すると15年度予算要求が勝負
- ・ また、青山副大臣の検討会や総合科学技術会議の動きを考慮すると至急、作業を開始する必要がある。
- ・ 検討は我が国全体の立場で行いたい。

2, 検討内容（あくまでも叩き台での項目）

（1）究開発構想

少なくとも以下の分野について基本的な方向、ある程度実現性のある研究構想が必要であろう。

- ①将来輸送系
- ②中小型ロケットの将来
- ③有人宇宙計画
- ④宇宙ステーション計画への対応
- ⑤宇宙科学
- ⑥衛星技術、軌道上インフラ技術
- ⑦航空技術

(2) 新組織の理念、基本的スタンス。

少なくとも以下の点について基本的考え方を検討しておく必要がある。

- ① 国の中核機関としての組織の役割、運営の在り方
- ② 産業界との関係
- ③ 大学、国研との関係
- ④ 国民との関係

3, 今後の検討の進め方ならびに体制

- ・ 各機関から上記の2人ずつの代表者から構成される検討会（6人委員会—仮称）により、本作業のステアリングを行う。
- ・ この下に、必要に応じて具体的な作業を行うワーキンググループを置く等柔軟・弾力的に対応。

これを踏まえ、なお、次回会合は以下の通り。

第2回宇宙3機関将来構想検討会

日時：平成13年9月13日〔木〕 午前10時半-午後2時

〔昼食は当方で用意します〕

場所：宇宙科学研究所新A棟2階 B会議室

（これまでの研究棟、A棟の隣に新築された建物です。

A棟玄関から入り、2階廊下をとおいで下さい）